

令和5年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
教育総務課
119p

大事業名	吉川保育所管理事業	款	項	目
		民生費	児童福祉費	児童福祉施設費

総合まちづくり計画	基本指針	住民主役のまちをつくり出す“ひとづくり”	関連指標	
	基本施策	安心して子どもが産める環境づくり		
	施策	安心できる出産と子育て環境		
	個別計画	豊能町学校等施設個別施設計画		

1.概要

事業内容	吉川保育所の施設・設備等の維持管理
対象	吉川保育所の施設・設備等
意図・目的	吉川保育所の施設・設備等の適正な維持・管理及び児童の保育環境の充実を図る。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			R04決算	R05決算	うち特定財源
1	吉川保育所管理事業	吉川保育所の施設・設備の保守及び修繕	1,026	944	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

施設の維持管理及び施設の修繕・改修等を行い、教育保育環境の維持を図るとともに、施設の安全に資することができた。	
〈主な経費〉	
・施設修繕	311,135円
・施設設備保守管理	116,600円
・除草及び剪定業務	192,696円
・施設設備等清掃委託	292,600円

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	有	施設・設備の適正管理	施設・設備の老朽化
	事業内容	有		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	有	新たな認定こども園の設置を見据えた適切な施設の改修及び設備の更新の検討	施設・設備の老朽化 新たな認定こども園の設置
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

施設の老朽化が進む中、豊能町学校等施設個別施設計画に基づき、施設の劣化状況や状態の変化を把握し、施設の機能維持を見据えた改修等の優先順位、改修内容、実施時期等を定め、改修費用の平準化を図る。

令和5年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
教育総務課
167p

大事業名	教育委員会運営事業	款	項	目
		教育費	教育総務費	教育委員会費

総合まちづくり計画	基本指針	住民主役のまちをつくり出す“ひとづくり”	関連指標	
	基本施策	まちの未来につながる教育の推進		
	施策	地域とともにある魅力ある教育		
個別計画				

1.概要

事業内容	教育委員会会議の開催、学校園所視察訪問、研修等
対象	教育長及び委員（5名）
意図・目的	地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、教育行政の推進に資する。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R04決算	R05決算	うち特定財源
1 教育委員会運営事業	教育委員会会議の開催、教育委員研修等	880	857	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

○教育委員会会議の開催や学校園所への訪問視察を行うなど、本町の教育行政の推進に資することができた。

- ・ 定例会の開催：年12回開催
- ・ 学校園所訪問視察：全校園所各2回
- ・ 委員研修・研究会：2回
- ・ 各行事への出席：運動会・学校公開授業

<主な経費>

- ・ 教育委員会委員報酬5名 750,000円

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

令和5年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
教育総務課
169p

大事業名	学校園管理事業	項 目		
		教育費	教育総務費	事務局費
総合まちづくり計画	基本方針	住民主役のまちをつくり出す“ひとづくり”		
	基本施策	まちの未来につながる教育の推進		
	施策	地域とともにある魅力ある教育		
	個別計画	豊能町学校等施設個別施設計画		

1.概要

事業内容	学校園の横断的な管理業務
対象	小中学校、幼稚園、認定こども園
意図・目的	学校園に関する全体的な施設管理、安全対策及び人事管理を行うなど、学校園の円滑な運営を支援する。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			R04決算	R05決算	うち特定財源
1	学校園管理事業	学校園の横断的、総合的、効率的な施設管理及び行事等サポート事務、外国人青年招致、豊能地区人事権移譲事務、教育総務事務等	11,979	16,713	2
2	学校園等施設通信環境改善事業	現在、GIGAスクール構想に基づき、タブレット端末を活用した授業を円滑に進めるため、学習用モバイルルーターを各校に整備することで、環境の改善を図る。	0	178	0
3	学校給食食器類等購入事業	吉川中学校の光風台小学校移転に伴い、自校式給食開始のための備品、消耗品等を整備する。	0	3,685	900

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

<主な経費>	
・小中学校幼稚園樹木剪定・伐採等業務委託	1,255,033円
・小中学校校務支援システム機器リース料	6,850,008円
・フィルタリングソフト使用料	650,760円
・ホームルーター及びモバイルルーター使用料	177,666円
・厨房機器購入	1,287,000円
・食器、食缶類等購入	2,398,000円

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	有		
現状の課題	事業内容	有	施設・設備の適正管理	施設・設備の老朽化 学校運営に対する施設・設備の更新の不備
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	有	義務教育学校の設置を見据えた適切な施設の改修及び設備の更新の検討	施設・設備の老朽化 義務教育学校の設置
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

施設の老朽化が進む中、豊能町学校等施設個別施設計画に基づき、施設の劣化状況や状態の変化を把握し、施設の機能維持を見据えた改修等の優先順位、改修内容、実施時期等を定め、改修費用の平準化を図る。

令和5年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書教育総務課
169p

大事業名	学校園保健衛生事業	款	項	目
		教育費	教育総務費	事務局費

総合まちづくり計画	基本指針	住民主役のまちをつくり出す“ひとづくり”	関連指標	
	基本施策	まちの未来につながる教育の推進		
	施策	地域とともにある魅力ある教育		
個別計画				

1.概要

事業内容	学校園の児童生徒及び教職員の健康診断等の実施
対象	小中学校、幼稚園、認定こども園
意図・目的	学校園における児童生徒及び教職員等の健康の保持増進を図るなど、安全・安心な学校園の運営に資する。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R04決算	R05決算	うち特定財源
1 学校園保健衛生事業	学校園の児童・生徒・園児及び教職員等の健康診断等、学校保健に関する事業	11,713	11,713	382

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

○就学時・就園前健診。学校健診及び教職員健診等を実施するなど、学校園の安全・安心な運営に資することができた。

- ・就学時・就園前健診：東西地区 各1回実施（11月）
- ・学校健診：4月～7月実施
- ・歯みがき指導：6月～11月実施
- ・脊髄側弯症検診：12月実施
- ・教職員健診：7月～8月実施

<主な経費>

・学校医報酬（その他報酬）	8,231,000円	・教職員健康診断委託料	906,400円
・検診補助他報償金	234,000円	・教職員メンタルヘルス相談事業	33,680円
・児童生徒の健康診断等委託	915,893円		

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

令和5年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
教育総務課
171p

大事業名	就学援助事業	款		項	目
		教育費		教育総務費	事務局費
総合まちづくり計画	基本方針	住民主役のまちをつくり出す“ひとづくり”			
	基本施策	まちの未来につながる教育の推進			
	施策	地域とともにある魅力ある教育			
	個別計画				

1.概要

事業内容	経済的理由によって就学困難と認められる児童生徒の保護者に対する就学支援
対象	経済的な理由で就学困難な小中学校の児童生徒の保護者
意図・目的	小中学校の児童生徒の就学支援を行い、教育の機会均等を図る。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			R04決算	R05決算	うち特定財源
1	就学援助事業	学用品購入費や学級費、給食費、修学旅行費等の給付	6,036	4,866	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

就学援助認定者について、すべての世帯に給付することができた。
<対象者>
新入学学用品費等入学前支給：18名
令和5年度における就学援助の状況：小学生44名、中学生29名、合計73名
<主な経費>
新入学学用品費等入学前支給費：998,183円
要保護・準要保護の就学援助費：3,867,533円

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

--

令和5年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書教育総務課
175p

大事業名	小中一貫校施設整備事業	款 教育費	項 教育総務費	目 事務局費
------	-------------	----------	------------	-----------

総合まちづくり計画	基本指針	住民主役のまちをつくり出す“ひとづくり”	関連指標	
	基本施策	まちの未来につながる教育の推進		
	施策	地域とともにある魅力ある教育		
個別計画	豊能町学校等施設個別施設計画			

1.概要

事業内容	令和8年度に東西地区それぞれに義務教育学校の設置を目指し、設計及び施設改修等を行う。
対象	小中一貫校施設
意図・目的	令和8年度に東西地区それぞれに義務教育学校の円滑な設置を目指す。

2.構成事業事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			R04決算	R05決算	うち特定財源
1	小中一貫校施設整備事業	令和8年度に東西地区それぞれに義務教育学校の設置を目指し、西地区における義務教育学校整備に向けた基本設計及び実施設計を実施する。	6,451	23,499	23,499

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

・小中一貫校整備に伴う基本設計・実施設計委託業務のうち西地区校義務教育学校の実施設計を実施した。
出来高 23,499,000円

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

令和5年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
教育総務課
175p

大事業名	奨学資金貸与事業	款	項	目
		教育費	教育総務費	奨学費

総合まちづくり計画	基本指針	住民主役のまちをつくり出す“ひとづくり”	関連指標
	基本施策	まちの未来につながる教育の推進	
	施策	地域とともにある魅力ある教育	
	個別計画		

1.概要

事業内容	奨学資金の貸与
対象	高等学校、大学等に在学する学生
意図・目的	経済的理由のために高等学校以上の修学が困難と認められる者に対し、奨学資金を貸与することにより教育機会を確保する。

2.構成事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			R04決算	R05決算	うち特定財源
1	奨学資金貸与事業	奨学金の貸与 高校生 月額12,000円 大学生 月額25,000円 等	744	600	600

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

奨学資金を貸与することにより教育機会の確保に資することができた。 ・貸与件数、貸与額 大学生 2名（内 新規認定 0名）、 600,000円
--

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	有		
現状の課題	事業内容	無	返還金滞納者への対応	私債権であるため債権回収における自力執行権が自治体に無い。
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	有	利用者の減少	対象者の減少 類似の奨学金制度の存在
	事業内容	有		
	費用対効果	無		

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
----------	---

6.改善の方向性

新規認定者が0名であり、豊能町で奨学資金の貸与をしていることをより周知していく必要がある。 また、債権回収については法務相談を行うなどの対応を検討する。

令和5年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書教育総務課
177p

大事業名	小学校管理事業	款 教育費	項 小学校費	目 学校管理費
------	---------	----------	-----------	------------

総合まちづくり計画	基本指針	住民主役のまちをつくり出す“ひとづくり”	関連指標	
	基本施策	まちの未来につながる教育の推進		
	施策	地域とともにある魅力ある教育		
	個別計画	豊能町学校等施設個別施設計画		

1.概要

事業内容	町立小学校の施設・設備の整備及び維持管理、小学校給食調理委託等
対象	町立小学校の施設
意図・目的	町立小学校4校の施設の維持管理及び施設の修繕・改修等を行い、教育環境の維持を図るとともに、施設の安全を確保する。

2.構成事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		R04決算	R05決算	うち特定財源
1 小学校管理事業	町立小学校4校の施設・設備の保守及び維持管理等、小学校給食調理委託	55,737	57,651	0
2 光風台小学校改修事業	令和6・7年度、吉川中学校生徒が光風台小学校で学習するにあたり設備や備品の運搬を行うとともに、設備の改修を行う。	0	8,143	5,600
3 小学校給食食材高騰分補助事業	世界的物価高騰の影響により、栄養価を担保した給食の提供を行うのが困難となっている。高騰分について補てんすることで、保護者負担に影響を与えることなく、栄養価を担保した給食を提供できるようにする。	0	1,691	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

・施設の維持管理及び施設の修繕・改修を行い、教育環境の維持を図るとともに、施設の安全に資することができた。

<主な経費>

・施設修繕	5,317,474円
・小学校給食調理委託業務	45,769,240円
・給食費物価高騰対策補助金	1,690,620円
・豊能町立吉川中学校引越運搬業務	6,710,000円
・吉川中学校移転に係るネットワーク業務	671,000円

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	有		
現状の課題	事業内容	有	施設・設備の適正管理	施設・設備の老朽化
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	有	義務教育学校の設置を見据えた適切な施設の改修及び設備の更新の検討	施設・設備の老朽化
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

B	A: 各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B: 小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C: 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D: 大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

施設の老朽化が進む中、豊能町学校等施設個別施設計画に基づき、施設の劣化状況や状態の変化を把握し、施設の機能維持を見据えた改修等の優先順位、改修内容、実施時期等を定め、改修費用の平準化を図る。

令和5年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
教育総務課
177p

大事業名	東能勢小学校運営事業	款 教育費	項 小学校費	目 学校管理費
総合まちづくり計画	基本指針 住民主役のまちをつくり出す“ひとづくり”	関連指標		
	基本施策 まちの未来につながる教育の推進			
	施策 地域とともにある魅力ある教育			
個別計画				

1.概要

事業内容	東能勢小学校の運営
対象	東能勢小学校 児童
意図・目的	小学校での授業や行事等の学校活動が円滑に実施できるようにする。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			R04決算	R05決算	うち特定財源
1	東能勢小学校運営事業	学校運営に関する経費	9,137	8,344	1

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

東能勢小学校の円滑な運営に資することができた。	在籍児童数（令和5年5月1日現在）
＜主な行事＞	1学年 1学級 10人
・入学式 4月10日	2学年 1学級 16人
・運動会（東能勢小中学校合同運動会9月29日）	3学年 1学級 23人
・修学旅行 10月26～27日	4学年 1学級 16人
・湖畔学習 5月25～26日	5学年 1学級 21人
・ペースランニング 11月27日	6学年 1学級 16人
・卒業式 3月18日	計 6学級 102人

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理 無		
	事業内容 無		
	費用対効果 無		
中長期的な課題	進捗管理 無		
	事業内容 無		
	費用対効果 無		

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
----------	--

6.改善の方向性

令和5年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書教育総務課
179p

大事業名	吉川小学校運営事業	款	項	目
		教育費	小学校費	学校管理費

総合 まち づくり 計画	基本指針	住民主役のまちをつくり出す“ひとづくり”	関連 指標	
	基本施策	まちの未来につながる教育の推進		
	施策	地域とともにある魅力ある教育		
	個別計画			

1.概要

事業内容	吉川小学校の運営
対象	吉川小学校 児童
意図・目的	小学校での授業や行事等の学校活動が円滑に実施できるようにする。

2.構成事業事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			R04決算	R05決算	うち特定財源
1	吉川小学校運営事業	学校運営に関する経費	7,302	6,698	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

吉川小学校の円滑な運営に資することができた。	在籍児童数（令和5年5月1日）
〈主な行事〉	1学年 1学級 11人
・入学式 4月10日	2学年 1学級 15人
・運動会 10月28日	3学年 1学級 16人
・臨海学舎 9月6～7日	4学年 1学級 11人
・修学旅行 10月4～5日	5学年 1学級 12人
・作品展 12月4日	6学年 1学級 14人
・卒業式 3月18日	計 6学級 79人

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の 課題	進捗管理 無		
	事業内容 無		
	費用対効果 無		
中長期的 な課題	進捗管理 無		
	事業内容 無		
	費用対効果 無		

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

令和5年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
教育総務課
179p

大事業名	光風台小学校運営事業	款	項	目
		教育費	小学校費	学校管理費
総合まちづくり計画	基本指針	住民主役のまちをつくり出す“ひとづくり”		
	基本施策	まちの未来につながる教育の推進		
	施策	地域とともにある魅力ある教育		
個別計画				

1.概要

事業内容	光風台小学校の運営
対象	光風台小学校 児童
意図・目的	小学校での授業や行事等の学校活動が円滑に実施できるようにする。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R04決算	R05決算	うち特定財源
1 光風台小学校運営事業	学校運営に関する経費	15,955	13,047	1

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

光風台小学校の円滑な運営に資することができた。	在籍児童数（令和5年5月1日現在）
〈主な行事〉	1学年 2学級 39人
・入学式 4月10日	2学年 1学級 33人
・運動会 5月27日	3学年 1学級 31人
・海洋学習 9月14～15日	4学年 1学級 31人
・修学旅行 10月6～7日	5学年 1学級 37人
・学習発表会 11月17日	6学年 1学級 38人
・卒業式 3月18日	計 7学級 209人

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

令和5年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書教育総務課
179p

大事業名	東ときわ台小学校運営 事業	款	項	目
		教育費	小学校費	学校管理費

総合 まち づくり 計画	基本指針	住民主役のまちをつくり出す“ひとづくり”	関連 指標	
	基本施策	まちの未来につながる教育の推進		
	施策	地域とともにある魅力ある教育		
	個別計画			

1.概要

事業内容	東ときわ台小学校の運営
対象	東ときわ台小学校 児童
意図・目的	小学校での授業や行事等の学校活動が円滑に実施できるようにする。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R04決算	R05決算	うち特定財源
1 東ときわ台小学校運営 事業	学校運営に関する経費	9,611	8,252	40

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

東ときわ台小学校の円滑な運営に資することができた。	在籍児童数（令和5年5月1日現在）
〈主な行事〉	1学年 1学級 16人
・入学式 4月10日	2学年 1学級 14人
・卒業式 3月18日	3学年 1学級 21人
・運動会 6月3日	4学年 1学級 16人
・水泳指導 6月20日～7月21日	5学年 1学級 16人
・海洋学習 9月14～15日	6学年 1学級 29人
・修学旅行 10月6～7日	計 6学級 112人
・学習発表会 11月17～18日	
・児童会カーニバル 1月19日	

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の 課題	進捗管理	無	
	事業内容	無	
	費用対効果	無	
中長期的 な課題	進捗管理	無	
	事業内容	無	
	費用対効果	無	

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
----------	---

6.改善の方向性

令和5年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書

教育総務課
181p

大事業名	小学校教育振興事業	款	項	目
		教育費	小学校費	教育振興費

総合まちづくり計画	基本指針	住民主役のまちをつくり出す“ひとづくり”	関連指標	
	基本施策	まちの未来につながる教育の推進		
	施策	地域とともにある魅力ある教育		
個別計画				

1.概要

事業内容	教材備品の整備、教科研究活動費等
対象	町立小学校
意図・目的	小学校教育課程において必要な備品を整備し、学習環境を整える。また、研究会の実施により、教育の向上を図る。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			R04決算	R05決算	うち特定財源
1	小学校教育振興事業	町立小学校4校の授業で使用する教材の整備等	915	908	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

小学校教育課程に係る教材備品を整備するなど、学習環境の充実に資することができた。 〈主な経費〉 ・教育振興備品購入（教材費） 908,617円
--

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無	学校における教育振興備品の整備	教育環境の充実
現状の課題	事業内容	有		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無	義務教育学校への統合を見据えた適切な教育振興備品の整理	学校の再編整備
	事業内容	有		
	費用対効果	無		

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
----------	--

6.改善の方向性

各学校において教育振興備品の現状把握に努めるとともに義務教育学校への統合を見据えた適切な購入を行う。

令和5年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
教育総務課
181p

事業名		中学校管理事業	款	項	目
			教育費	中学校費	学校管理費
総合まちづくり計画	基本指針	住民主役のまちをつくり出す“ひとづくり”		関連指標	
	基本施策	まちの未来につながる教育の推進			
	施策	地域とともにある魅力ある教育			
	個別計画	豊能町学校等施設個別施設計画			

1.概要

事業内容	町立中学校の施設、設備の整備及び維持管理、中学校給食調理委託等
対象	町立中学校の施設
意図・目的	町立中学校2校の施設の改修・維持管理を行い、教育環境の維持を図るとともに、施設の安全を確保することを目的とする。

2.構成事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			R04決算	R05決算	うち特定財源
1	中学校管理事業	町立中学校2校の施設・設備の整備及び維持管理	37,487	37,952	0
2	中学校給食費支援事業	コロナ禍における物価高騰が長引く中、中学校給食の無償化により生活支援を行う。	0	14,557	0
3	中学校給食食材高騰分補助事業	世界的物価高騰の影響により、栄養価を担保した給食の提供を行うのが困難となっている。高騰分について補てんすることで、保護者負担に影響を与えることなく、栄養価を担保した給食を提供できるようにする。	0	1,072	0
4	中学校給食費補助事業	東能勢小学校5・6年生は令和4年度より中学校給食を喫食している。保護者負担額を240円/食に据え置くため、デリバリー給食実施による費用の不足分を補てんする。	0	358	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

・施設の維持管理及び施設の修繕・改修を行い、教育環境の維持を図るとともに、施設の安全に資することができた。	
・デリバリー方式である中学校給食を安心・安全に提供することができた。	
・中学校給食の無償化を行うことで、保護者負担軽減に資することができた。	
<主な経費>	
・施設修繕	1,314,596円
・中学校給食調理業務委託	32,436,800円
・中学校給食費支援補助金	14,556,670円
・中学校給食食材高騰分補助金	1,072,040円
・東能勢小学校5・6年生給食費補てん	358,326円

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	有	施設・設備の適正管理	施設・設備の老朽化
現状の課題	事業内容	有		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	有	義務教育学校の設置を見据えた適切な施設の改修及び設備の更新の検討	施設・設備の老朽化
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

施設の老朽化が進む中、豊能町学校等施設個別施設計画に基づき、施設の劣化状況や状態の変化を把握し、施設の機能維持を見据えた改修等の優先順位、改修内容、実施時期等を定め、改修費用の平準化を図る。

令和5年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
教育総務課
183p

大事業名	東能勢中学校運営事業	款	項	目
		教育費	中学校費	学校管理費
総合まちづくり計画	基本指針	住民主役のまちをつくり出す“ひとづくり”		
	基本施策	まちの未来につながる教育の推進		
	施策	地域とともにある魅力ある教育		
	個別計画			

1.概要

事業内容	東能勢中学校の運営
対象	東能勢中学校 生徒
意図・目的	中学校での授業や行事等の学校活動が円滑に実施できるようにする。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R04決算	R05決算	うち特定財源
1 東能勢中学校運営事業	学校運営に関する経費	8,802	8,557	45

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

東能勢中学校の円滑な運営に資することができた。		在籍生徒数 （令和5年5月1日現在）	
〈主な行事〉	入学式 4月7日	1学年 1学級	22人
	・修学旅行 5月17～19日	2学年 1学級	21人
	・東能勢フェスタ（舞台の部 6月16日）	3学年 1学級	33人
	（展示の部 12月14～19日）	計 3学級	76人
	・東能勢小中学校合同運動会 9月29日		
・職場体験学習 10月23～25日		・卒業式 3月14日	
・校外学習（1年）11月1日（2年）3月8日			

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

令和5年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書教育総務課
183p

大事業名	吉川中学校運営事業	款	項	目
		教育費	中学校費	学校管理費

総合 まち づくり 計画	基本指針	住民主役のまちをつくり出す“ひとづくり”	関連 指標	
	基本施策	まちの未来につながる教育の推進		
	施策	地域とともにある魅力ある教育		
	個別計画			

1.概要

事業内容	吉川中学校の運営
対象	吉川中学校 生徒
意図・目的	中学校での授業や行事等の学校活動が円滑に実施できるようにする。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			R04決算	R05決算	うち特定財源
1	吉川中学校運営事業	学校運営に関する経費	9,238	8,512	77

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

吉川中学校の円滑な運営に資することができた。		在籍生徒数（令和5年5月1日現在）	
〈主な行事〉		1学年	2学級 82人
・入学式	4月7日	2学年	2学級 63人
・修学旅行	5月24～26日	3学年	2学級 75人
・宿泊学習(2年)	5月24～25日	計	6学級 220人
・合唱発表会	6月9日		
・体育大会	9月9日		
・校外学習(1年)	11月29日		
・卒業式	3月14日		

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の 課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的 な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

令和5年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
教育総務課
185p

大事業名	中学校教育振興事業	款	項	目
		教育費	中学校費	教育振興費

総合まちづくり計画	基本指針	住民主役のまちをつくり出す“ひとづくり”	関連指標	
	基本施策	まちの未来につながる教育の推進		
	施策	地域とともにある魅力ある教育		
個別計画				

1.概要

事業内容	教材備品の整備、教科研究活動費等
対象	町立中学校
意図・目的	中学校教育課程において必要な備品を整備し、学習環境を整える。また、研究会の実施により、教育の向上を図る。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			R04決算	R05決算	うち特定財源
1	中学校教育振興事業	町立中学校2校の授業で使用する教材の整備等	676	692	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

中学校教育課程に係る教材備品を整備するなど、学習環境の充実に資することができた。 〈主な経費〉 ・教育振興備品購入（教材費） 691,587円
--

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	有	学校における教育振興備品の整備	教育環境の充実
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無	義務教育学校への統合を見据えた適切な教育振興備品の整理	学校の再編整備
	事業内容	有		
	費用対効果	無		

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
----------	--

6.改善の方向性

各学校において教育振興備品の現状把握に努めるとともに義務教育学校への統合を見据えた適切な購入を行う。

令和5年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書教育総務課
187p

大事業名	ひかり幼稚園管理事業	款	項	目
		教育費	幼稚園費	幼稚園管理費

総合まちづくり計画	基本指針	住民主役のまちをつくり出す“ひとづくり”	関連指標	
	基本施策	まちの未来につながる教育の推進		
	施策	地域とともにある魅力ある教育		
	個別計画	豊能町学校等施設個別施設計画		

1.概要

事業内容	ひかり幼稚園の設備・整備の維持管理口
対象	ひかり幼稚園の施設口設備等
意図・目的	ひかり幼稚園施設の適正な維持・管理により、環境の充実に図る。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			R04決算	R05決算	うち特定財源
1	ひかり幼稚園管理事業	ひかり幼稚園の施設・設備の保守管理及び修繕等口	618	327	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

施設の維持管理及び施設の修繕・改修等を行い、教育保育環境の維持を図るとともに、施設の安全に資することができた。

〈主な経費〉

・施設修繕	19,800円
・施設設備保守管理	53,900円
・施設設備等清掃委託	55,000円

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	有	施設・設備の適正管理	施設・設備の老朽化
現状の課題	事業内容	有		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	有	新たな認定こども園の設置を見据えた適切な施設の改修及び設備の更新の検討	施設・設備の老朽化 新たな認定こども園の設置
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

施設の老朽化が進む中、豊能町学校等施設個別施設計画に基づき、施設の劣化状況や状態の変化を把握し、施設の機能維持を見据えた改修等の優先順位、改修内容、実施時期等を定め、改修費用の平準化を図る。

令和5年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
教育総務課
187p

大事業名	ふたば園管理事業	款 教育費	項 幼稚園費	目 幼稚園管理費
------	----------	----------	-----------	-------------

総合まちづくり計画	基本指針	住民主役のまちをつくり出す“ひとづくり”	関連指標	
	基本施策	まちの未来につながる教育の推進		
	施策	地域とともにある魅力ある教育		
	個別計画	豊能町学校等施設個別施設計画		

1.概要

事業内容	ふたば園の設備・整備の維持管理口
対象	ふたば園の施設口設備等
意図・目的	ふたば園施設の適正な維持・管理により、環境の充実を図る。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			R04決算	R05決算	うち特定財源
1	ふたば園管理事業	ふたば園の施設・設備の保守管理及び修繕等口	1,458	1,609	0
2	ふたば園照明器具取替修繕事業	電気使用量の削減及び今後の施設維持のため、ふたば園職員室内照明器具のLED化を行う。	0	242	0
3	ふたば園乳児棟2階エアコン取替工事業	故障した乳児棟2階エアコンの取替工事を行う。	0	969	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

施設の維持管理及び施設の修繕・改修等を行い、教育保育環境の維持を図るとともに、施設の安全に資することができた。
〈主な経費〉
・ふたば園乳児棟2階エアコン取替工事 968,880円
・ふたば園照明器具取替修繕 242,000円
・その他施設修繕 502,247円
・施設設備保守管理 283,800円
・施設設備等清掃委託 314,655円

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	有	施設・設備の適正管理	施設・設備の老朽化
	事業内容	有		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	有	施設・設備の適正管理	施設・設備の老朽化
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
----------	---

6.改善の方向性

施設の老朽化が進む中、豊能町学校等施設個別施設計画に基づき、施設の劣化状況や状態の変化を把握し、施設の機能維持を見据えた改修等の優先順位、改修内容、実施時期等を定め、改修費用の平準化を図る。

令和5年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書義務教育課
171p

事業名	学校教育充実事業	款	項	目
		教育費	教育総務費	事務局費

総合まちづくり計画	基本指針	住民主役のまちをつくり出す“ひとづくり”	関連指標	
	基本施策	まちの未来につながる教育の推進		
	施策	地域とともにある魅力ある教育		
	個別計画	豊能町子ども・子育て支援事業計画		

1.概要

事業内容	学習指導要領の目指す「生きる」力を育成する指導方法の研究及び特色ある学校づくりの推進。
対象	児童・生徒・教職員
意図・目的	学習指導要領を適切に実施するための指導力向上及び特色ある教育の推進。

2.構成事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		R04決算	R05決算	うち特定財源
1 学校教育充実事業	学習指導要領のめざす「生きる力」を育成する指導方法の研究や、学校教育の改善により指導力を向上させることで、学校教育の充実を図る。	1,289	1,252	0
2 教職員研修充実事業	教育公務員特例法により、教員の任命権者は研修計画を立て、その実施に努めなければならないと定められている。教職員人事権の移譲に伴い、府で実施していた研修の多くを豊能地区と町独自で実施している。教員数の減少と中堅層が薄いなか、職場内での学び合いが機能しにくい現状を打開するための有効な研修の企画を行う。	735	718	718
3 学力向上事業	東西にある公民館を活用し「中学生まなび舎教室」を開き、主体的に学ぶ生徒の支援を行う。町学力向上プランを策定し、教員の授業力向上、授業改善をめざした学校への支援、保幼小中連携を推進するための研究を行う。	3,619	2,888	0

4 デジタル教材教育事業	学習指導要領を踏まえて、授業内容の充実、さらなる工夫改善をめざして、各学校にてデジタル教材を活用し、よりよい授業づくりに取り組む。	291	241	0
5 GIGAスクール教育支援システム配備事業	1人1台端末による学習環境を実現するため、教職員及び児童・生徒の間で課題の提示と回答の集約、オンライン配信ソフトを利用した授業などを、配備されたタブレット端末で実施するために必須となる教育支援システムを町内各学校に配備する。	2,486	3,701	0
6 小・中学校学力等調査事業	小学校1年生から中学校3年生までの児童・生徒に対して、年1回学力・体力・生活（アンケート）調査を実施する。これにより、児童・生徒一人ひとりの成果と課題を把握し、今後の学習指導に活用していくことで、本町全体の学力向上を図る。また、本町全体の学力を向上させることで、質の高い教育環境を求める子育て世代に対し「教育の町」という魅力を持たせる。	2,296	2,247	0
7 GIGAスクールサポーター配置促進事業	1人1台学習用端末を使用した教育の実施及び学校が臨時休業等で児童・生徒が登校できなくなる場合に備え、学校のICT化を推進するICT技術者を町内各学校に配置する。学校内のICT環境整備、ICTを用いた授業づくりの支援をICT技術者に委託することで、情報機器を利用した学校教育の改善、向上を図ることができ、もって本町全体の学力の向上に資するものである。	6,729	6,752	0
8 子どもの読書活動推進事業	町立各小・中学校図書館司書の連携・協議の場を設定することで、読書活動に関する学校間の情報共有を促し、児童・生徒の読書意欲の向上を図る取組みを推進する。	143	131	131
9 ことばの力向上推進事業	町内在住の中学校1～3年生を対象に、実用英語技能検定受験料の補助を年1回に限り行う。また、町内各学校で検定を実施することで、町内で受験できる機会を提供する。これにより、本町内の中学生に対し、学びに対する意欲の醸成を図る。	589	635	236

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

○学習指導要領の適切な実施に向け、教職員研修等の充実を図ることができた。（研修会4回。のべ297名参加。）
 ○各校の児童・生徒の学力向上をめざし、学校OBを活用した1、2年目教職員育成指導員を配置し、1、2年目教職員への指導助言を行うことで、授業の充実が図れた。
 ○町独自で小・中学生の学力・体力・生活調査を実施し、状況把握を行うことができた。
 ○GIGAスクールサポーターを各校に派遣し、タブレット端末の活用を進めることができた。
 （週1回、各中小学校に派遣。）
 ○タブレット端末を活用するソフトを導入し、児童・生徒の学習支援を行うことができた。

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	有	学習保障の観点から、タブレット端末を活用した教育のICT化の整備が今後も進んでいく。
	事業内容	有	
	費用対効果	有	
中長期的な課題	進捗管理	有	教育のICT化については、タブレット端末等の更新や、各種教育に必要なソフトの仕様に係るライセンス料等が毎年度必要となってくる。
	事業内容	有	
	費用対効果	有	

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
----------	---

6.改善の方向性

国の進めるGIGAスクール構想による教育のICT環境の整備にかかる費用を国や大阪府からの通達や動向を注視し、整備等に係る補助事業の情報を確認し、適宜予算措置を行いながら対応策を講じる。

令和5年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
義務教育課
173p

大事業名	学校運営事業	款	項	目
		教育費	教育総務費	事務局費
総合まちづくり計画	基本指針	住民主役のまちをつくり出す“ひとづくり”		
	基本施策	まちの未来につながる教育の推進		
	施策	地域とともにある魅力ある教育		
個別計画		豊能町子ども・子育て支援事業計画		

1.概要

事業内容	学校(園所)の自己診断及び学校協議会等の実施による、問題解決に向けた具体的な目標・計画の策定と点検・評価
対象	学校(管理職・教職員)、地域、保護者
意図・目的	児童・生徒の課題や保護者・地域のニーズを受け止め学校の教育目標の共有化と学校運営の組織化を図り、信頼される魅力ある学校づくりを推進する。 学校のエデュケーション活動その他の学校運営の状況について、学校協議会委員から評価をいただき、学校運営の改善を図る。

2.構成事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		R04決算	R05決算	うち特定財源
1 学校運営事業	学校協議会等により、学校教育自己診断の作成・分析について協議会委員の意見を聞く場を設定する。また、豊能町PTA連絡協議会の活動を支援する。	174	180	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

○学校運営に関し、学校協議会委員の意見を参考に学校の取組みについて改善や工夫が図れた。
 ※3所園：地域の方や学識経験者3名ずつ委員を委嘱し、年3回開催
 ※4小・中学校：地域の方や学識経験者5名ずつ委員を委嘱し、年3～4回開催
 ○豊能町PTA連絡協議会の活動では、会員相互の情報交流や連携した取組みを進めることができた。
 （スポーツイベント1回、役員会長会9回）

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	有	PTAの加入や役員の負担等の課題整理が必要 PTAの活動内容を整理する必要がある。
	事業内容	有	
	費用対効果	無	
中長期的な課題	進捗管理	有	義務教育学校開校に伴い、PTAや学校協議会の在り方について整理が必要 令和8年度、東西それぞれに義務教育学校が開校されるが、PTAや学校運営協議会の運営方法を検討する必要がある。
	事業内容	有	
	費用対効果	無	

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

豊能町PTA連絡協議会、PTA部会や学校運営協議会の中で協議を行う。

令和5年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
義務教育課
173p

事業名	人権・地域教育充実事業	款	項	目
		教育費	教育総務費	事務局費

総合まちづくり計画	基本指針	住民主役のまちをつくり出す“ひとづくり”	関連指標	
	基本施策	まちの未来につながる教育の推進		
	施策	人権に向き合うひとづくり		
	個別計画	豊能阿子ども・子育て支援事業計画		

1.概要

事業内容	地域との協働による学校教育の推進及び人権教育の推進による一人ひとりを大切にしたい教育の充実
対象	児童・生徒、保護者、地域、学校（教職員）
意図・目的	地域の持つ教育力の向上や多様化する教育課題（不登校・いじめ等）への対応を推進することで、一人ひとりが輝く教育の充実を図る。

2.構成事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			R04決算	R05決算	うち特定財源
1	人権・地域教育充実事業	地域の教育力活性化事業として「ふれあいのつどい」を実施し、一人ひとりの人権が尊重される社会の形成に向けた啓発と、学校教育の活性化を図る。	107	110	0
2	教育コミュニティづくり推進事業	全小・中学校に地域学校協働活動推進員を配置し、地域と学校との懸け橋としての役割を担うことで、地域住民等の参画による学校支援活動を充実させ、学校教育の充実を図るとともに、地域の教育力向上をめざす。学校と地域の連携が促進され、「地域に開かれた学校づくり」を推進する。	1,289	1,288	847
3	地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業	通学路における子どもの安全確保を図るため、警察や学校OBをスクールガード・リーダーとして委嘱し、各小学校区を定期的に巡回し、警備のポイントや改善すべき点などの指導と評価を行うとともに、安全見守り隊（地域ボランティア）と連携した活動を行う。	474	521	324
4	いじめ問題等対策推進事業	いじめの未然防止、いじめ防止のための啓発推進及びいじめ発生時の対策のための行政としての責務を遂行する。学校の様々な課題解決に取り組むために学校等支援指導員を配置する。また、学校問題調査対策委員会を立ち上げ、専門家を招聘することで重大事案発生時にも備える。	2,120	1,495	1,495

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

○人権教育の理念を持ち、自分や相手も大切にする教育・保育活動を進めることができた。
○いじめ問題等に関わる初動体制や保護者への対応について、専門家の関わりが増えている。
○各校とも地域学校協働活動推進員を中心に、授業支援、見守り、学校の草刈りや清掃作業等を地域に呼び掛けて実施した。
○スクールガードリーダーによる登下校の見守り活動により、通学路の安全が確保されている。（週2～3日朝と夕方危険箇所の確認も兼ねて見守りを実施。）

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	有	事案に対する専門家の関わりが増加傾向にあり、専門家（専門職）等に対する予算も増加している。
	事業内容	有	
	費用対効果	有	
中長期的な課題	進捗管理	有	事案に対する専門家の関わりが増加傾向にあり、専門家（専門職）等に対する予算を増加する必要がある。
	事業内容	有	
	費用対効果	有	

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

各分野の専門家等の確保と持続した連携の確立及び予算の確保

令和5年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書義務教育課
173p

事業名	児童生徒健全育成充実事業	款	項	目
業	教育費	教育総務費	事務局費	

総合まちづくり計画	基本指針	住民主役のまちをつくり出す“ひとづくり”	関連指標	
	基本施策	まちの未来につながる教育の推進		
	施策	地域とともにある魅力ある教育		
	個別計画	豊能町子ども・子育て支援事業計画		

1.概要

事業内容	個別的教育支援計画に基づき個別の指導計画を作成し、一人ひとりのニーズに応じた授業を行う。
対象	個別の支援が必要な児童・生徒
意図・目的	すべての障がいのある児童・生徒の社会参加と自立をめざし「ともに学び、ともに育つ」教育の一層の継承・発展を図る。

2.構成事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R04決算	R05決算	うち特定財源
1 児童生徒健全育成充実事業	支援学級等に在籍する児童・生徒に対して、専門家による巡回相談を実施する。 児童・生徒だけではなく、先生方にも指導を行い、個に応じた支援を充実させる。	958	1,032	767
2 色覚検査表購入事業	学校において使用している色覚検査表を買い替える。	0	22	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

○支援教育担当の教職員を中心に、配慮を要する児童・生徒の状況把握や、必要な支援体制の構築を図ることができた。

○配慮を要する児童・生徒に対し、専門家（作業療法士（OT）、理学療法士（PT）、言語聴覚士（ST））による巡回相談の実施により、支援の充実に図ることができた。

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	無	
	事業内容	無	
	費用対効果	無	
中長期的な課題	進捗管理	無	
	事業内容	無	
	費用対効果	無	

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

--

令和5年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
義務教育課
175p

大事業名	款		項	目
	教育費		教育総務費	事務局費
総合まちづくり計画	基本指針	住民主役のまちをつくり出す“ひとづくり”		関連指標
	基本施策	まちの未来につながる教育の推進		
	施策	地域とともにある魅力ある教育		
	個別計画	豊能町子ども・子育て支援事業計画		

1.概要

事業内容	保幼小中一貫教育の推進
対象	学校、保護者、地域住民等
意図・目的	学校再編に伴い、豊能町の保幼小中一貫教育の方向性に則った義務教育学校の開校に向けて企画、運営、準備等を行い、保幼小中一貫教育を推進する。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			R04決算	R05決算	うち特定財源
1	保幼小中一貫教育推進事業	保幼小中一貫教育推進のため、学校運営協議会を中心として地域の方等と協議を重ね、「地域とともにある学校」の構築をめざし、令和8年4月の東西それぞれに義務教育学校を設置する準備を行う。質の高い教育環境を求める子育て世代に対して本町に住むという選択をしてもらえるように進める。	1,256	929	929
2	校歌・校章等作成事業	令和8年4月の義務教育学校開校に向けて、学校の校章の作成を行う。	0	100	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

○令和8年4月の義務教育学校開校に向けて、東西に設置した学校運営協議会を定期的に開催し、準備を進めることができた。（東能勢小中学校学校運営協議会12回、吉川中学校区学校運営協議会10回）

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	有	義務教育学校開校に向けた準備等が必要であり、それに伴う予算措置が必要である。	具体的な整備に伴う体制づくりと予算措置が必要である。
	費用対効果	有		
中長期的な課題	進捗管理	有	義務教育学校開校に向けた具体的な準備や周知が十分にできるよう、体制の整備や予算措置が必要である。	具体的な整備に伴う体制づくりと予算措置が必要である。
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

保護者・地域住民・教職員への周知を行うとともに、先進地への視察等により知識を深め、義務教育学校開校に向けた具体的な準備態勢の構築と、それに伴う予算措置を継続して行う必要がある。

令和5年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書こども育成課
119p

大事業名	吉川保育所運営事業	款	項	目
		民生費	児童福祉費	児童福祉施設費

総合 まち づくり 計画	基本指針	住民主役のまちをつくり出す“ひとづくり”	関連 指標	
	基本施策	安心して子どもが産める環境づくり		
	施策	安心できる出産と子育て環境		
	個別計画	豊能町子ども・子育て支援事業計画		

1.概要

事業内容	吉川保育所における保育の実施
対象	吉川保育所 在籍児童
意図・目的	児童が健康で安全な生活ができ、集団生活に適応できるよう心身の発達を図る。

2.構成事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R04決算	R05決算	うち特定財源
1 吉川保育所運営事業	吉川保育所運営に関する経費	32,334	35,750	4,591
2 保育士派遣事業	保育士の不足に対応するため、人材派遣会社と派遣委託契約を結び、保育士の人材を確保する。	8,355	19,258	0
3 使用済みおむつ回収事業	使用済み紙おむつを保育所において処分するための機器等を購入することにより、おむつ持ち帰りに伴う保護者や職員の負担軽減を図る。	0	1,301	686
4 吉川保育所運営補助事業	保育所業務のうち環境整備等にかかる簡易業務をシルバー人材センターに委託し、保育士の業務軽減を図る。	0	3,311	0
5 吉川保育所給湯器取替事業	老朽化した給湯器の買い替えを行う。	0	106	0
6 吉川保育所感染症予防対策事業	新型コロナウイルス感染症の防止対策として、保育所の環境衛生管理を強化する。	500	500	500

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

○施設の安全点検と環境整備を実施し、保育所機能の向上に努め、児童の健全育成に資することができた。

・児童（2号・3号保育認定）の在籍状況（令和5年度末）
0歳児 8人、1歳児 14人、2歳児 15人、3歳児 18人、4歳児 21人、5歳児 26人 計102人

〈主な経費〉
・給食調理委託業務 16,368,000円、保育士派遣業務 19,257,783円、給食費支援事業費 292,114円

〈主な行事〉
・入所式 4月4日、運動会 6月17日、夕涼み会 7月1日、デイキャンプ 7月14日、修了式 3月5日

○使用済みおむつ回収事業の実施により、おむつ持ち帰りに伴う保護者及び職員の負担軽減を図ることができた。

・処理機（2台、1,106,160円）、バックフィルム（194,920円）

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	無	
	事業内容	無	
	費用対効果	無	
中長期的な課題	進捗管理	無	
	事業内容	無	
	費用対効果	無	

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

令和5年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
こども育成課
123p

事業名	留守家庭児童育成室管理事業	款	項	目
		民生費	児童福祉費	育成室運営費

総合まちづくり計画	基本指針	住民役のまちをつくり出す“ひとづくり”	関連指標
	基本施策	まちの未来につながる教育の推進	
	施策	地域とともにある魅力ある教育	
	個別計画	豊能町子ども・子育て支援事業計画	

1.概要

事業内容	留守家庭児童の居場所を確保し、適切な保育を実施する。
対象	留守家庭の小学生
意図・目的	保護者の就労等により、放課後に留守家庭となる小学校1年生から6年生の児童について健全な育成を図ることを目的とする。

2.構成事業事業

事業名		事業概要	事業費（千円）		
			R04決算	R05決算	うち特定財源
1	留守家庭児童育成室管理事業	留守家庭児童育成室の運営に関する経費（東能勢育成室、光風台育成室、東ときわ台育成室）	2,232	2,233	712
2	留守家庭児童育成室新規備品購入事業	入室者の増加に伴い、児童が使用する座卓を購入する。	0	114	0
3	光風台留守家庭児童育成室運営補助事業	支援員の不足に対応するため、子どもの見守り業務をシルバー人材センターに委託する。	0	326	0
4	光風台留守家庭児童育成室フロアーマット購入事業	育成室内における児童の安全を確保するため、フロアーマットを購入する。	0	229	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

- ・就労・疾病等の理由により、放課後や長期休暇中、保護者が留守となる児童を対象に、放課後の遊びや生活児童の健全な育成を図ることができた。
- ・児童の在籍状況（令和5年度末）

区分	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
東能勢育成室	9	7	4	2	0	2	24
光風台育成室	17	6	4	2	1	0	30
東ときわ台育成室	10	6	11	3	0	0	30
計	36	19	19	7	1	2	84

〈主な経費〉東ときわ台小育成室送迎委託 739,442円、光熱水料費 533,024円ほか

課題の有無		課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	無	令和6年度に吉川留守家庭児童育成室を開室するにあたり施設整備が必要である。
	事業内容	有	
	費用対効果	無	
中長期的な課題	進捗管理	無	令和8年度に義務教育学校が開校するにあたり、育成室の施設整備及び運営方法の検討が必要である。
	事業内容	有	
	費用対効果	無	

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

令和6年4月の吉川留守家庭児童育成開室に伴い、冷暖房設備等を設置するなど必要な施設整備を行う。

令和5年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
こども育成課
173p

大事業名	幼児教育・保育の充実 事業	款	項	目
		教育費	教育総務費	事務局費

総合まちづくり計画	基本指針	住民主役のまちをつくり出す“ひとづくり”	関連指標	
	基本施策	まちの未来につながる教育の推進		
	施策	地域とともにある魅力ある教育		
個別計画	豊能町子ども・子育て支援事業計画			

1.概要

事業内容	子どもを取り巻く社会状況を踏まえ、研究保育・研修を深め、子どもの発達に即した保育・教育を行う。
対象	保育所・幼稚園・こども園の教職員
意図・目的	保育・教育の質の向上

2.構成事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			R04決算	R05決算	うち特定財源
1	幼児教育・保育の充実事業	特色ある豊能町の就学前保育・教育の充実のため、保育士・教職員の保育・教育力の向上を推進する。	329	326	326

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

・研究指定制度を設け、研究保育に基づく学識経験者の指導を受け、主体的に研究活動に取り組み、各園所において子どもが直接体験する活動を実施するなど、研究保育を行った。（研究保育：22回）

・子どもの主体的な学びにつながる保育実現をねらいとし、所園内研修の体制整備を図り、学力向上指導員や幼児教育アドバイザーを活用し、主体的に実施した。（所園内研修：18回）

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	有	・保幼小中一貫教育の接続カリキュラムの研究 ・所園内研修におけるマネジメント	・保幼小中一貫教育の連携 ・教育課程や指導の改善
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	有	・保幼小中一貫教育の接続カリキュラムの研究 ・所園内研修のカリキュラムマネジメントの構築	・保幼小中一貫教育の連携 ・教育課程や指導の改善
	事業内容	有		
	費用対効果	無		

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

・学力向上指導員や幼児教育アドバイザーを活用し、教職員の資質向上を図る。

・各所属の研修保育の充実を図り、保護者や地域への情報提供に取り組む。

令和5年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
こども育成課
173p

事業名	子育て支援環境の充実 事業	款 教育費	項 教育総務費	目 事務局費
-----	------------------	----------	------------	-----------

総合まちづくり計画	基本指針	住民主役のまちをつくり出す“ひとづくり”	関連指標	
	基本施策	安心して子どもが産める環境づくり		
	施策	安心できる出産と子育て環境		
	個別計画	豊能町子ども・子育て支援事業計画		

1.概要

事業内容	子どもと子育て家庭を取り巻く現状を把握し、「子どもを安心して育てる」ためのサポート、「子どもを産み育てる魅力ある施策」を推進する。
対象	地域住民・児童生徒とその保護者
意図・目的	子育ての不安解消、育児負担の軽減、親子の基本信頼関係の構築、キャリア教育（産み育てる次世代の若者育成）

2.構成事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			R04決算	R05決算	うち特定財源
1	障がいのある児童・生徒へのサポート相談事業	発達障がいのある児童生徒に関する専門的知識・経験を有する巡回相談員を定期的に派遣し、指導内容や支援方法について助言を受けるなど特別支援教育の推進を図る。	1,507	1,604	1,032
2	放課後児童クラブ地域連携充実事業	放課後に子どもたちの適切なあそびや生活の場を確保し、小学校の余裕教室等を活用して、地域の方々の参画を得ながら、学習やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取組みを実施する。	1,197	1,197	1,197

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

- ・専門知識を有する巡回相談員を学校園所に派遣し、発達障がいを含む障害のある児童生徒に対する指導内容や支援の方法について助言を受け、一人ひとりのニーズに応じた支援を行った。（巡回相談:40回）
- ・小学校の隣り合った教室を活用することで、留守家庭児童育成室と放課後子ども教室が連携し、多様な学習、体験活動、交流を実施することができた。（42回）

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	有	・放課後子ども教室の体制 ・地域の人材の確保	・学校支援サポーターの減少
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無	・人員の確保 ・場所の確保	・学校支援サポーターの減少
	事業内容	有		
	費用対効果	無		

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

放課後児童クラブ地域連携充実事業については、地域や関係機関が主体的に取り組むことができる組織・体制づくりを行う。

令和5年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書こども育成課
175p

事業名	子ども・子育て支援事業	款	項	目
		教育費	教育総務費	事務局費

総合まちづくり計画	基本指針	住民主役のまちをつくり出す“ひとづくり”	関連指標	
	基本施策	安心して子どもが産める環境づくり		
	施策	安心できる出産と子育て環境		
	個別計画	豊能町子ども・子育て支援事業計画		

1.概要

事業内容	幼稚園、保育所、認定こども園の保育認定及び保育給付、豊能町子ども・子育て支援事業計画の進行管理を行う。
対象	就学前の子ども
意図・目的	子ども・子育て支援法等に基づき、幼児期の教育・保育や地域における多様な子ども・子育て支援の充実を図り、子どもの健やかな成長に寄与することを目的とする。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			R04決算	R05決算	うち特定財源
1	子ども・子育て支援事業	子ども・子育て支援給付事務、豊能町子ども・子育て審議会の運営、豊能町子ども・子育て支援事業計画の進行管理等	11,517	19,418	12,161

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

・幼児教育・保育無償化に対応し、適切に給付事務を行った。

〈主な経費〉

・教育・保育給付費負担金 15,661,040円、償還金 3,077,306円
 ・豊能町子ども・子育て審議会委員報酬 49,000円

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

令和5年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書

こども育成課
187p

大事業名	ひかり幼稚園運営事業	款	項	目
		教育費	幼稚園費	幼稚園管理費

総合まちづくり計画	基本指針	住民主役のまちをつくり出す“ひとづくり”	関連指標	
	基本施策	安心して子どもが産める環境づくり		
	施策	安心できる出産と子育て環境		
	個別計画	豊能町子ども・子育て支援事業計画		

1.概要

事業内容	ひかり幼稚園における教育・保育の実施
対象	ひかり幼稚園 園児
意図・目的	教育課程を作成し、それに基づき、教育目標を達成する為年齢に応じた適切な教育内容、教育環境を整え教育活動を行うことを目的とする。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			R04決算	R05決算	うち特定財源
1	ひかり幼稚園運営事業	ひかり幼稚園の運営に関する経費	3,117	3,159	2,216
2	ひかり幼稚園園バス安全対策事業	園児送迎用バスに園児置き去り防止対策装置を設置する。	0	138	138
3	ひかり幼稚園給食費支援事業	原油価格・物価高騰に対応するため、園で提供する給食の材料購入費を補助する。	121	154	0
4	ひかり幼稚園感染症対策予防事業	新型コロナウイルス感染の防止対策として、幼稚園の環境衛生管理を強化する。	0	494	468

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

○施設の安全点検と環境整備を実施し、幼稚園機能の向上に努め、児童の健全育成に資することができた。

・園児（1号認定・教育）の在籍状況（令和5年度末）

3歳児 29人、4歳児 23人、5歳児 24人 計 76人

〈主な経費〉

・エアコン老朽化に伴う買い替え（1台、305,800円）、給食費支援事業費 153,920円

〈主な行事〉

・入園式 4月11日、デイキャンプ 7月20日、運動会 10月7日、卒園式 3月15日

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

令和5年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書こども育成課
189p

大事業名	ふたば園運営事業	款	項	目
		教育費	幼稚園費	幼稚園管理費
総合まちづくり計画	基本指針	住民主役のまちをつくり出す“ひとづくり”		
	基本施策	安心して子どもが産める環境づくり		
	施策	安心できる出産と子育て環境		
	個別計画	豊能町子ども・子育て支援事業計画		

1.概要

事業内容	ふたば園における教育・保育の実施
対象	ふたば園 園児
意図・目的	園児が健全で安全な生活ができ、集団生活に対応できるよう心身の発達を図る。

2.構成事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		R04決算	R05決算	うち特定財源
1 ふたば園運営事業	ふたば園の運営に関する経費	26,422	28,321	2,633
2 保育士・幼稚園教諭派遣事業	保育士・幼稚園教諭の不足に対応するため、人材派遣会社と派遣委託契約を結び、保育士・幼稚園教諭の人材を確保する。	8,671	9,688	0
3 ふたば園園児送迎事業	ふたば園の園児送迎に使用するため、車両等の購入を行う。	0	3,618	144
4 使用済みおむつ回収事業	使用済み紙おむつをふたば園において処分するための機器等を購入することにより、おむつ持ち帰りに伴う保護者や職員の負担軽減を図る。	0	758	447
5 ふたば園給食費支援事業	原油価格・物価高騰に対応するため、園で提供する給食の材料購入費を補助する。	9	122	33
6 ふたば園感染症予防対策事業	新型コロナウイルス感染症の防止対策として、ふたば園の環境衛生管理を強化する。	500	500	500

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

○施設の安全点検と環境整備を実施し、こども園機能の向上に努め、児童の健全育成に資することができた。
・園児の在籍状況（令和5年度末） 1号(教育) 3歳児 0人、4歳児 4人、5歳児 2人 計 6人 2・3号(保育) 0歳児 3人、1歳児 5人、2歳児 11人、3歳児 12人、4歳児 7人、5歳児 14人 計 52人 〈主な経費〉 ・給食調理委託業務等 16,422,000円、保育士・幼稚園教諭派遣業務 9,688,210円、給食費支援事業費 121,458円 〈主な行事〉 ・入園式 4月11日、夏祭り 6月30日、デイキャンプ 7月15日、運動会 10月1日、卒園式 3月16日 ○使用済みおむつ回収事業の実施により、おむつ持ち帰りに伴う保護者及び職員の負担軽減を図ることができた。 ・処理機（1台、670,890円）、バックフィルム（87,560円）

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	無	
	事業内容	無	
	費用対効果	無	
中長期的な課題	進捗管理	無	
	事業内容	無	
	費用対効果	無	

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
----------	---

6.改善の方向性

--

令和5年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書

生涯学習課
191p

大事業名	生涯学習推進事業	款 教育費	項 社会教育費	目 社会教育総務費
------	----------	----------	------------	--------------

総合まちづくり計画	基本指針	住民主役のまちをつくり出す“ひとづくり”	関連指標	
	基本施策	まちの未来につながる教育の推進		
	施策	子どもから大人まで。生涯、学習！		
	個別計画	豊能町教育大綱（令和2年1月改定）		

1.概要

事業内容	町民の主体的かつ多彩な生涯学習活動の支援、機会の提供及び推進
対象	住民、各種社会教育団体
意図・目的	地域における社会教育・生涯学習の推進を図ること。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R04決算	R05決算	うち特定財源
1 生涯学習推進事業	社会教育委員会に問題点を諮るとともに地域における社会教育・生涯学習の普及に係る事業を企画・実施する。	618	459	12

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

○社会教育関係団体等及び公民館利用団体の登録を行い、団体への支援を行うとともに、団体の活動内容を紹介した冊子を作成し、これから活動を始めたいと考えている方への情報提供を行った。
○高齢者を対象とした「ウグイス大学」を4年ぶりに開催（全8回）。行政の手を離れた運営委員会による企画運営で、自主的な取り組みによる事業が実施できた。
○実行委員会による文化祭（2日間）の開催
・展示部門（出展者数220名、作品出展数407作品）
・パフォーマンス部門（出演団体19団体、出演者数197名）

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	無	・後継者不足 ・趣味趣向や社会参加の場の多様化
	事業内容	有 団体の活動は活発であるが、後継者不足や世代の新陳代謝が進んでいない団体が多い。	
	費用対効果	無	
中長期的な課題	進捗管理	無 ・学校教育との連携が十分に行われてはいない。	・学校教育（小・中学校）と社会教育（生涯学習課）との課題の共通認識が十分でない。
	事業内容	有	
	費用対効果	無	

5.総合評価

C	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6.改善の方向性

○文化祭について、実行委員会により自主的に取り組んでいるが、次代の担い手不足が懸念されるため、適宜委員会でアドバイスをを行い、今後の解決策を検討する。
○社会教育関係団体や公民館利用団体間の自主的活動の推進を図るとともに、団体への情報提供・支援を行う。
○学校教育と課題の共通認識を図り連携を進めていく。
○豊能町公共施設再編に関する基本方針に基づく判断、意思決定に注視しながら、社会教育委員や利用者の意見、利用状況の分析を参考に、円滑な施設管理や運営のあり方を検討する。

令和5年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書生涯学習課
191p

大事業名	青少年健全育成事業	款	項	目
		教育費	社会教育費	青少年対策費

総合まちづくり計画	基本指針	住民主役のまちをつくり出す“ひとづくり”	関連指標	
	基本施策	まちの未来につながる教育の推進		
	施策	子どもから大人まで。生涯、学習！		
	個別計画	豊能町教育大綱（令和2年1月改定）		

1.概要

事業内容	生涯学習課による青少年健全育成を目指した取り組み 青少年指導員を中心とした青少年健全育成を目指した取り組み
対象	町内在住の青少年
意図・目的	青少年の健全育成を行うこと。

2.構成事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R04決算	R05決算	うち特定財源
1 青少年健全育成事業	青少年の健全育成を目指した取り組みを行う。	1,638	1,718	108

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

○夏休みこども講座（全5回 延べ参加者数：69名）
 ○青少年体力推進事業（夏休み限定シートス・プール無料利用）（3歳以上中学生以下／延べ利用者数：352名）
 ○青少年指導員会主催「森と遊ぼう！」（参加者数：児童15名、保護者8名 計23名）
 ○はたちのつどい（参加者数：111名）

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無	・事業への新規の参加者が少なく、一部の人が事業の恩恵を受ける。	・児童の減少と共に生活環境も多様化し、参加する時間の確保が難しくなっており、事業に参加する青少年が固定化されている。 ・各事業が類似しており、事業の多様性が不足している。
現状の課題	事業内容	有		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無	・事業の参加者の減少により、事業効果が減少する懸念がある。	・若年層の町外流出、町内転入者の減少により若年層の人口減少が進んでいる。
	事業内容	有		
	費用対効果	有		

5.総合評価

C	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

○今後見込まれる青少年の人口減少に見合う事業と特色ある内容を検討する。
 ○青少年の体験型事業については、多くの人に参加してもらえるよう対応策を検討する。

令和5年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
生涯学習課
193p

大事業名	西公民館管理事業	款	項	目
		教育費	社会教育費	公民館費

総合まちづくり計画	基本指針	住民主役のまちをつくり出す“ひとづくり”	関連指標	
	基本施策	まちの未来につながる教育の推進		
	施策	子どもから大人まで。生涯、学習！		
	個別計画	豊能町生涯学習施設個別施設（長寿命化）計画		

1.概要

事業内容	西公民館の保守管理
対象	西公民館利用者
意図・目的	西地区の生涯学習施設の拠点として、住民の教養の向上、健康の増進等を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与するとともに、公民館の利用促進、社会教育の発展充実を図ること。

2.構成事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			R04決算	R05決算	うち特定財源
1	西公民館管理事業	生涯学習における住民活動の場を提供するとともに施設（西公民館）の適正かつ効率的、効果的な維持管理を行う。	7,971	7,733	2,815
2	西公民館改修事業	消防設備点検において不備のあった消火栓設備及び誘導灯設備の取替を行う。	612	251	251

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

○西地区の生涯学習施設の拠点としての管理と運営に努めた。
○令和5年度利用状況 ・開館日数：320日 ・利用件数：4,426件 ・利用者数：49,080人

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	有	・施設の老朽化が進んでおり、多くの補修費用が必要となっている。	・公民館建設から年数が経過し、補修必要箇所が増加している。
	事業内容	有		
	費用対効果	有		
中長期的な課題	進捗管理	有	・計画的な施設・設備の補修と更新 ・施設の運営形態の検討 ・持続可能な生涯学習の場の確保	・財政状況の悪化 ・公共施設再編検討により、今後の公共施設の在り方が左右される。
	事業内容	有		
	費用対効果	有		

5.総合評価

D	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
----------	---

6.改善の方向性

○引き続き修繕・改修・更新を行い、安全な環境整備を目指し改善に取り組む。
○豊能町公共施設再編に関する基本方針に基づく判断、意思決定に注視しながら、社会教育委員や利用者の意見、利用状況の分析を参考に、円滑な施設管理や運営のあり方を検討する。
○自主事業については、C評価とし、同様の事業は統合するなどの検討と実施事業の見直しが必要である。

令和5年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
生涯学習課
193p

大事業名	中央公民館管理事業	款	項	目
		教育費	社会教育費	公民館費

総合まちづくり計画	基本指針	住民主役のまちをつくり出す“ひとづくり”	関連指標	
	基本施策	まちの未来につながる教育の推進		
	施策	子どもから大人まで。生涯、学習！		
	個別計画	豊能町生涯学習施設個別施設（長寿命化）計画		

1.概要

事業内容	中央公民館の保守管理
対象	中央公民館利用者
意図・目的	東地区の生涯学習施設の拠点として、住民の教養の向上、健康の増進等を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与するとともに、公民館の利用促進、社会教育の発展充実を図ること。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R04決算	R05決算	うち特定財源
1 中央公民館管理事業	生涯学習における住民活動の場を提供するとともに施設（中央公民館）の適正かつ効率的、効果的な維持管理を行う。	5,383	5,151	594

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

○東地区の生涯学習施設の拠点としての管理と運営に努めた。

○令和5年度利用状況

・開館日数：295日 ・利用件数：1,616件 ・利用者数：13,284人

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	有		
現状の課題	事業内容	無	・施設全体の補修、修繕、設備の入替や更新等 ・未耐震であること。	・施設の経年劣化と定期的な補修、修繕、計画的な財政措置
	費用対効果	有		
中長期的な課題	進捗管理	有	・計画的な施設・設備の補修と更新 ・施設の運営形態の検討 ・持続可能な生涯学習の場の確保	・財政状況の悪化 ・豊能町公共施設再編に関する基本方針に基づく意思決定
	事業内容	無		
	費用対効果	有		

5.総合評価

D	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

○適宜修繕・改修等を行い、安全な環境整備を目指し改善に取り組む。

○豊能町公共施設再編に関する基本方針に基づく判断、意思決定に注視しながら、社会教育委員や利用者の意見、利用状況の分析を参考に、円滑な施設管理や運営のあり方を検討する。

令和5年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
生涯学習課
197p

事業名	款	項	目
ユーベルホール管理事業	教育費	社会教育費	ホール運営費

総合まちづくり計画	基本指針	住民主役のまちをつくり出す“ひとづくり”	関連指標	
	基本施策	まちの未来につながる教育の推進		
	施策	子どもから大人まで。生涯、学習！		
個別計画	豊能町生涯学習施設個別施設（長寿命化）計画			

1.概要

事業内容	ユーベルホールの保守管理運営と施設整備
対象	ユーベルホール利用者
意図・目的	施設内外の多様な設備の保守管理や整備を行うことにより、貸館や主催事業などをいつも良好な環境下で実施すること。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			R04決算	R05決算	うち特定財源
1	ユーベルホール管理事業	芸術・文化発表の場を提供するために、多種多様な施設設備の保守管理を行い、円滑な運営をする。	37,735	35,370	5,983
2	ユーベルホール改修事業	消防設備点検において不備のあった誘導灯設備の取替を行う。	0	121	121
3	ユーベルホール空調設備改修事業	経年劣化により不具合が発生した空調設備について装置の更新や洗浄作業を行う。	0	3,054	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

○施設の老朽化により生じている不具合箇所の修繕について、事業や貸館等に影響が出ないように実施したことにより、滞りなく実施することができた。
○令和5年度利用状況 ・利用日数：251日 ・利用者数：19,066人

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	有	・施設の更新、修繕等 ・付帯設備、機器の更新、修繕等 ・上記等による利用者の安全確保
	事業内容	無	
	費用対効果	有	
中長期的な課題	進捗管理	有	・施設の大規模更新に多額の経費を要する。 ・周辺施設にも同様の課題があり、総合的な検討が必要
	事業内容	無	
	費用対効果	有	

5.総合評価

D	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
----------	---

6.改善の方向性

○引き続き修繕・改修・更新を行い、安全な環境整備を目指し改善に取り組む。
○豊能町公共施設再編に関する基本方針に基づく判断、意思決定に注視しながら、社会教育委員や利用者の意見、利用状況の分析を参考に、円滑な施設管理や運営のあり方を検討する。

令和5年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
生涯学習課
197p

目		項		款	
ホール運営費		社会教育費		教育費	
文化振興事業		大事業名			

総合まちづくり計画	基本指針	住民主役のまちをつくり出す“ひとづくり”	関連指標	
	基本施策	まちの未来につながる教育の推進		
	施策	子どもから大人まで。生涯、学習！		
	個別計画	豊能町教育大綱（令和2年1月改定）		

1.概要

事業内容	文化芸術基本法、劇場・音楽堂等の活性化に関する法律に定める地方公共団体の責務に沿った取り組み
対象	住民及び文化芸術鑑賞されるもの
意図・目的	地域住民をはじめとする人々がホールに親近感を持ち、ホールへの事業参加や施設の活用を促し、文化振興を促進すること。

2.構成事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R04決算	R05決算	うち特定財源
1 文化振興事業	主催事業、連携協力事業、ロビーコンサートを実施し、文化芸術の振興、豊かな心を育てる。	5,535	4,069	3,938

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

- 地域アーティストによる継続的な公演により地域の固有性を確保することができた。
 ○フィルハーモニック・ウインズ大阪との連携協定により芸術家支援を行うことができた。
 ○コロナ禍が一段落したことで来場者が戻りつつあり、ユーベル寄席では約400名の来場があった。

【事業実績】

- ・ユーベルロビー登録者によるロビーコンサート（12回）
- ・フィルハーモニック・ウインズ大阪によるホールコンサート（5回）及びロビーコンサート（4回）
- ・テレマンファミリーコンサート、ユーベル寄席
- ・スタインウェイピアノ演奏体験

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	有	・ジャンルや利用者の固定化 ・参加型事業の未実施 ・他事業連携が不十分 ・普及啓発や鑑賞者育成	・予算の縮減や費用対効果を重視した演目の設定 ・実演芸術に関し総合的かつ専門的に企画、実施することができる人材がいない。 ・施設の更新や存続にかかる方針が定まっておらず、中長期的な企画運営が困難
現状の課題	事業内容	有		
	費用対効果	有		
中長期的な課題	進捗管理	有	同上	同上
	事業内容	有		
	費用対効果	有		

5.総合評価

C	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

- ユーベルホール管理事業における施設運営の方向性と連携しつつ、下記の視点で、事業を行いながら文化芸術振興にかかる中長期的なあり方を整理する。
 ○ユーベルロビー登録者による公演については地域の固有性を確保する取り組みとして引き続き行う必要があるが、その他自主事業等については、内容や提供方法、歳入確保等について、文化ホール運営協議会や外部の専門家等の意見を活用しつつ、実験的な取り組みを行うことで今後の企画運営のあり方を検討する。

令和5年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
生涯学習課
199p

事業名	文化財保護事業	款	項	目
		教育費	社会教育費	文化財保護費
総合まちづくり計画	基本指針	住民主役のまちをつくり出す“ひとづくり”		
	基本施策	まちの未来につながる教育の推進		
	施策	子どもから大人まで。生涯、学習！		
	個別計画	豊能町教育大綱（令和2年1月改定）		

1.概要

事業内容	埋蔵文化財調査・保全、寺社調査、石造物調査
対象	町内文化財
意図・目的	文化財の保護啓発、埋蔵・民俗・石造文化財等の調査、保全により文化財を後世に伝えること。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R04決算	R05決算	うち特定財源
1 文化財保護事業	埋蔵文化財調査・保全、寺社調査、石造物調査等の文化財に関する事業を行う。豊能町の文化財を後世に伝える。	55	104	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

○町指定文化財の指定 2件（吉川古地図・走落神社古面）
○文化財保護委員会の開催 2回
○埋蔵文化財確認調査 2ヶ所（余野1件、寺田1件）

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	有		
現状の課題	事業内容	有	・文化財の掘り起こしを進めている。各種開発に伴う埋蔵文化財の確認調査も必要となる。	・調査、保護、活用に至るまでには、適切な組織体制が必要とされる。
	費用対効果	無	・調査、保護、活用について適切な対処が求められている。	
中長期的な課題	進捗管理	有	・有形・無形・民俗・埋蔵文化財、史跡、名勝等それぞれの分野に対して適切な対処が求められるが、それに対応する組織体制の構築、及び人材育成。	・組織体制の構築と長期的な視点に立った人材育成が図られていない。
	事業内容	有		
	費用対効果	無		

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

○文化財は、文化財保護法の趣旨に基づき「国民共通の宝」であることから町内所在の文化財も「町民の宝」でもある。この趣旨を、文化財の指定やHP等を活用して町民に啓発し、文化財保護活用の機運を醸成することによって、予算の確保や人材育成を図っていく。

令和5年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書生涯学習課
199p

事業名	事業内容	款	項	目
郷土資料館管理事業		教育費	社会教育費	文化財保護費

総合まちづくり計画	基本指針	住民主役のまちをつくり出す“ひとづくり”	関連指標	
	基本施策	まちの未来につながる教育の推進		
	施策	子どもから大人まで。生涯、学習！		
	個別計画	豊能町生涯学習施設個別施設（長寿命化）計画		

1.概要

事業内容	郷土資料館の管理、展示物の適正管理、来館者への案内
対象	住民、近隣住民、豊能町に興味がある方
意図・目的	豊能町の文化財の啓発施設としての適切な運用と適正管理を行うこと。

2.構成事業

事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R04決算	R05決算	うち特定財源
1 郷土資料館管理事業	郷土資料館の適正な維持管理を行う。	234	256	4

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

○来館者数 349人（大人206人、子ども143人、うち町内266人、町外83人）
○令和5年度「関西文化の日」参加（11月18日）

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	無	・施設や設備の修繕計画等の不 在 ・施設の老朽化、計画的な修繕計画の策定
	事業内容	有	
	費用対効果	無	
中長期的な課題	進捗管理	有	・計画的な施設の維持管理 ・町内公共施設の再編 ・長期的な展望に立った施設配置計画の不存在
	事業内容	有	
	費用対効果	有	

5.総合評価

D	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
----------	---

6.改善の方向性

○資料館施設は築80年以上、建物自体が木造建築物として文化財的な価値を有しているが、老朽化により防犯や防災設備については限界があり、この状況では、町民の貴重な文化財を預かる施設として適切ではない。現施設の補修・改修等は現実的でないため、防犯・防災設備が整えられる施設への移転について、東地区公共施設再編のなかで検討していきたい。

令和5年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
生涯学習課
201p

大事業名	体育施設管理事業	款	項	目
		教育費	保健体育費	スポーツ振興費
総合まちづくり計画	基本指針	住民主役のまちをつくり出す“ひとづくり”		
	基本施策	まちの未来につながる教育の推進		
	施策	子どもから大人まで。生涯、学習！		
	個別計画	豊能町生涯学習施設個別施設（長寿命化）計画		

1.概要

事業内容	体育施設（ふれあい広場、スポーツ広場）の適正な維持管理
対象	体育施設利用者
意図・目的	町民一人一人、また各種団体の活動の場として利用しやすい施設を維持し、住民の体力向上に寄与すること。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R04決算	R05決算	うち特定財源
1 体育施設管理事業	体育施設（ふれあい広場、スポーツ広場）の維持管理を行う。	6,540	6,184	1,619

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

○ふれあい広場・スポーツ広場の施設利用と管理を民間に委託することにより、事務負担が軽減され、効率的な管理が行われ、より良好な住民サービスを行うことができた。
○令和5年度利用状況
・ふれあい広場 テニスコート893件 運動広場178件
・スポーツ広場 球技場73件 運動広場193件

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	有		
現状の課題	事業内容	無	・施設や設備の老朽化	・施設の老朽化と計画的な財政措置
	費用対効果	有		
中長期的な課題	進捗管理	有	・施設や設備の老朽化 ・公共施設の再編	・施設の老朽化と計画的な財政措置
	事業内容	有		
	費用対効果	有		

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

○豊能町公共施設再編に関する基本方針に基づく判断、意思決定に注視しながら、社会教育委員や利用者の意見、利用状況の分析を参考に、円滑な施設管理や運営のあり方を検討する。
○令和6年度委託業務終了後の運営形態について、より効率的な管理を図るため、ふれあい広場とスポーツ広場を別々にし、指定管理制度の導入や利用団体による自主運営又は委託内容の変更を含めて検討する。

令和5年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書生涯学習課
201p

大事業名	シートの管理事業	款	項	目
		教育費	保健体育費	スポーツ振興費

総合まちづくり計画	基本指針	住民主役のまちをつくり出す“ひとづくり”	関連指標	
	基本施策	まちの未来につながる教育の推進		
	施策	子どもから大人まで。生涯、学習！		
	個別計画	豊能町生涯学習施設個別施設（長寿命化）計画		

1.概要

事業内容	指定管理制度によるシートの適正管理業務
対象	シート利用者
意図・目的	民間事業者による指定管理者の能力を活用し、地域住民等に提供するサービスの効果効率を向上させ、地域住民の一層の健康増進を図ること。

2.構成事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R04決算	R05決算	うち特定財源
1 シート管理事業	民間活力導入により、シートの効率的な運営を図る。	58,780	55,935	0
2 シート改修事業	経年劣化により使用不能となった幼児用プールろ過ポンプ及びろ過装置用コンプレッサー等の取替を行う。	7,557	2,277	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

○民間活力により、サービスの効果効率を図り、一層の健康増進が図れた。
○令和5年度利用者数 ・プール/ジム/スタジオ 123,842人 ・アリーナ 27,352人 ・第二体育場 2,263人 ・テニスコート 8,579人 ・総利用者数 162,036人

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	有	・施設や設備の老朽化 ・コロナ感染拡大による利用者減からの回復	・老朽化と財政措置
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	有		
中長期的な課題	進捗管理	有	・施設や設備の老朽化 ・将来の利用者減の懸念	・施設の管理方針と財政措置
	事業内容	無		
	費用対効果	有		

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
----------	---

6.改善の方向性

○多種多様な住民ニーズに対応し、利用者の新規獲得を図る。
○豊能町公共施設再編に関する基本方針に基づく判断、意思決定に注視しながら、社会教育委員や利用者の意見、利用状況の分析を参考に、円滑な施設管理や運営のあり方を検討する。
○急速な施設や設備の経年劣化により不具合箇所が発生する中、安定した施設管理を目的とした改修に伴う財政措置の改善が必要。
○令和8年度からの指定管理について新たな指定管理方法及び財政面の検討が必要。

令和5年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
生涯学習課
201p

大事業名	生涯スポーツ推進事業	款	項	目
		教育費	保健体育費	スポーツ振興費
総合まちづくり計画	基本指針	住民主役のまちをつくり出す“ひとづくり”		
	基本施策	まちの未来につながる教育の推進		
	施策	子どもから大人まで。生涯、学習！		
	個別計画	豊能町教育大綱（令和2年1月改定）		

1.概要

事業内容	学校体育施設の開放、スポーツイベントの開催、各種スポーツ教室の開催等
対象	スポーツ事業の参加者
意図・目的	誰もがいつでもどこでも気軽に参加でき、スポーツに親しみ、自分にあった生涯スポーツを見つけてことができるような機会を提供すること。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			R04決算	R05決算	うち特定財源
1	生涯スポーツ推進事業	老若男女が楽しめる、様々なスポーツ・レクリエーション活動の場と機会を提供し、地域における生涯スポーツの振興を図る。	1,936	1,418	6

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

○スポーツ推進委員会主催事業…様々な年齢層の方が参加し、スポーツの機会提供と参加者交流を図る。 ・ニュースポーツ体験会、フロアカーリング大会、モルック教室 ○町体育連盟への支援（各種スポーツ団体による町民大会等実施） ○学校体育施設の開放
--

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	有	・町民ニーズへの対応	・スポーツの多様多様化 ・少子高齢化
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無	・生涯スポーツ推進のための活動団体の存続	・スポーツ団体構成員の高齢化による後継者不足 ・少子高齢化
	事業内容	有		
	費用対効果	無		

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

○多種多様なスポーツ事業の展開を図り、生涯楽しめるスポーツを発見できる機会を増やす。 ○自主的活動の推進及び活動団体（既存・新規）への指導・育成・支援 ○町内活動団体の情報提供と紹介 ○町の認知を高める（他地域からの参加者を集められる）イベントの開催
--

令和5年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
生涯学習課
195p

事業名	図書館運営事業	款	項	目
		教育費	社会教育費	図書館運営費
総合まちづくり計画	基本指針	住民主役のまちをつくり出す“ひとづくり”		
	基本施策	まちの未来につながる教育の推進		
	施策	子どもから大人まで。生涯、学習！		
	個別計画			

1.概要

事業内容	図書館サービスの向上を図り、質を高める。又、子育て支援の更なる推進及び高齢者に向けた講座の開催などを時宜に合わせて実施する。
対象	利用者（町在住・在勤・在学者、広域利用者）
意図・目的	住民ニーズに合った図書の充実やサービス提供に努めるとともに、学校や園所とも連携し、生涯学習支援、子育て支援を推進する。

2.構成事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R04決算	R05決算	うち特定財源
1 図書館運営事業	図書館サービスの向上を図るほか、子育て支援の更なる推進及び高齢者に向けた講座の開催などを町内機関と連携し実施することにより、生涯学習支援・子育て支援を推進する。	2,236	2,201	8
2 図書館資料購入事業	住民ニーズに合った図書の充実やサービスの提供により、生涯学習支援・子育て支援を推進する。	5,581	5,437	0
3 図書館地域子育て支援・拡充事業	町内の子育て支援に関係する部署・機関と連携を図り、子育て支援に関連する講座の実施、情報の提供、展示スペースの活用などを図り、地域として総合的に子育て支援を行っていく。	705	699	699
4 読書バリアフリー法対応事業	読書バリアフリー法（令和元年6月28日施行）及び視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する基本計画（国の基本計画・令和2年7月策定）に基づき、図書館における障害者サービスの充実を図るため、必要とされる資料の充実を努める。	40	302	0
5 子育て初めて絵本貸出事業	乳幼児を子育て中の保護者へは、親子で楽しむ読書の提案を行うとともに、幼児から小学生低学年へは、読書に親しむ環境づくりの支援を行う。	0	502	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

○主な実績数値 開館日数：図書館 275日・中央公民館図書室 291日 貸出人数：60,375人 貸出冊数：191,047冊 有効登録者数：4,608人 町民1人あたり貸出冊数：10.57冊
○主な実施事業 バリアフリー関連図書及び初めて絵本貸出し用図書の充実を図り、初めて絵本セット貸出しの本格実施を始めるとともに館内資料の更新を行い、生涯学習・子育て支援推進の基盤を補強した。 図書館の行事として、英語による絵本の読み聞かせ、紙芝居演じ方講座や、ブックコーティング講座による人材発掘事業などの取り組みを始めた。

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	有	・コロナ禍により減少した利用者数を回復させること。 ・図書館資料の傷みが多くなり、買い替える必要のある資料の買い替えが必要である。	・少子高齢化による人口減少 ・図書館運営費の削減
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無	・貸出市（貸出森町）利用者が増えたものの、豊能町内利用者の減少は続いてしまっている。	・少子高齢化による人口減少 ・図書館運営費の削減
	事業内容	有	・資料の汚損・延滞・持出などの利用上の問題が増加傾向にある。利用者意識の改革と新規事業の企画立案と実施を単発でなく長期的に続けていく必要がある。	・現行施策の常態化による利用者意識の鈍化
	費用対効果	無		

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

○コロナ禍当時に非来館での利便性維持のため試験導入していたホームページからのダイレクトリクエストについては、極一部の利用者のみが利用していたこともあって、令和6年度中に廃止する予定
○令和5年度には多言語資料や大活字本の導入に力を入れてきた。情報発信もあり、順調に貸出は増えているため、令和6年度以降はこれを新たな軸として利用者増につなげていきたい。
○平日の開館時間中は現役世代の利用が難しいこともあり、比較的良好に利用いただいている高齢者世代とはサービス享受に差が生まれていると感じる。カウンターにおける質問や読書相談においても、現役世代は時間に追われているように思えることがある。児童や高齢者はもちろんだが、生涯学習施設としては中間の年代にも居心地のいい空間、やさしい図書館を標榜していきたい。
○これまで図書館を利用していない住民向けに新たな事業展開が必要である。そのため町内小中学校園所との連携をさらに深め、児童生徒から保護者まで図書館に今一度興味を持ち来館いただけるような取り組みを実施する。

令和5年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
生涯学習課
197p

事業名	図書館管理事業	款	項	目
		教育費	社会教育費	図書館運営費
総合まちづくり計画	基本指針	住民主役のまちをつくり出す“ひとづくり”		
	基本施策	まちの未来につながる教育の推進		
	施策	子どもから大人まで。生涯、学習！		
	個別計画	豊能町生涯学習施設個別施設（長寿命化）計画		

1.概要

事業内容	生涯学習施設（図書館）の適正、かつ効率的・効果的な維持管理
対象	生涯学習施設（図書館）
意図・目的	すべての図書館利用者に快適性、安全性、利便性等を考えた利用環境を提供する。

2.構成事務事業

事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R04決算	R05決算	うち特定財源
1 図書館管理事業	図書館利用者の快適性、安全性、利便性等を考えた適正な維持・管理を行う。 すべての図書館利用者に快適性、安全性、利便性等を考えた利用環境を提供することができる。	6,305	5,415	0
2 図書館施設維持修繕事業	老朽化により動作不良を起こしていた図書館正面入口の自動扉装置(センサー類)を修繕する。	935	352	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

○センサー異常を指摘されていた正面玄関の自動扉を修繕し、施設の維持管理に努めたことにより利用者の安全な利用環境を提供できた。
--

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	有	・図書館の開館から年月が経過し、各所の老朽化が顕著になってきている。 ・雨漏りも発生しており、経過観察を要する。 ・館内清掃の限界もあり、床面の汚れやシミが見受けられる。 ・館外のタイルが剥離して段差が生じている部分もあり、安全確保のために補修が必要。	・施設設備の経年劣化
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	有		
中長期的な課題	進捗管理	有	・施設の大規模改修及び設備更新に多額の経費がかかる。 ・前々年度の電話設備故障を皮切りに、施設運営に大きな影響を及ぼす事象が突発的に発生するが、予測と対策ができない。	・人口減少や高齢化のさらなる進展及び町財政状況の悪化 ・豊能町生涯学習施設個別施設計画（長寿命化）による施設の改修が必要であるが、公共施設再編計画があり実施できない
	事業内容	無		
	費用対効果	有		

5.総合評価

D	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6.改善の方向性

○空調設備の稼働に係る費用の削減に努めてきたが、対処としては頭打ちな状況にある。また、酷暑・寒冷期における住民の休憩所としての役割も一部期待されており、空調機器の使用は避けられない。視覚・聴覚効果や水冷等といった機器に頼らない温度調整も試みたいが、資料の多い図書館では障害が多い。 ○公共施設再編に図書館も含まれていることから、計画に則り今後の施設の在り方、管理方法を見直す必要がある。
--

